

平成27年度第2回練馬区立美術館運営協議会 次第

平成28年3月17日（木）午後2時
サンライフ練馬3階 研修室

（審議事項）

1 平成28年度 事業計画（案）

- (1) 収支予算
- (2) 展覧会事業
- (3) 教育普及事業

（報告事項）

1 平成27年度事業報告（中間報告）

- (1) 展覧会事業
- (2) 教育普及事業
- (3) 美術作品の収集

2 美術の森緑地

- (1) 美術の森緑地リニューアル後の動向
- (2) 広報活動と反響

3 その他

平成 2 7 年度

第 2 回 練馬区立美術館運営協議会



平成28年 3 月17日

平成 27 年度 第 2 回練馬区立美術館運営協議会 目次

練馬区立美術館運営協議会委員名簿	1
練馬区立美術館運営協議会条例	3
1 平成28年度事業計画（案）	
(1) 平成28年度収支予算	5
(2) 展覧会事業	
平成28年度展覧会事業日程	6
横井弘三展（案）	7
コレクション展（案）	8
しりあがり寿展（案）	9
朝井閑右衛門展（案）	10
栗津則雄コレクション展（案）	11
田沼武能展（案）	12
お蔵出し！コレクション展（案）	13
(3) 教育普及事業	
平成28年度教育普及事業計画（案）	14
2 平成27年度事業報告（中間報告）	
(1) 展覧会事業	
平成27年度展覧会事業日程および観覧者数	17
(2) 教育普及事業	
平成27年度教育普及事業実績	19
平成27年度博物館実習実績	21
(3) 美術作品の収集事業	22
3 美術の森緑地	
(1) 美術の森緑地リニューアル後の動向	23
(2) 広報活動と反響	24

練馬区立美術館運営協議会委員名簿

	氏 名	役 職
学識経験者	粟津 則雄	文芸評論家
	高橋 幸次	日大芸術学部美術学科教授
	青木 茂	明治美術学会 会長
	伊豆井 秀一	埼玉県立近代美術館専門員兼学芸員
	大橋 皓也	洋画家
	佐藤 康宏	東京大学教授
	島田 紀夫	実践女子大学名誉教授
練馬区議会議員	高松 さとし	区議会議員
	やない 克子	区議会議員
	岩瀬 たけし	区議会議員
	土屋としひろ	区議会議員
公募区民	中澤 弘生	公募区民
	暮田 麻里子	公募区民
	平柳 慶子	公募区民
美術関係者	伊藤 定夫	練馬・文化の会 代表
	島田 紘一呂	練馬区美術家協会 会長
学校教育関係者	江川 誠志	三原台中学校 校長
	森田 敏裕	大泉第一小学校

練馬区立美術館運営協議会条例

昭和60年10月8日

条例第45号

(設置)

第1条 練馬区立美術館(以下「美術館」という。)の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 美術館の運営方針に関すること。
- (2) 美術館の事業計画に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

(定数)

第3条 協議会は、委員19人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 8人以内
- (2) 練馬区議会議員 4人以内
- (3) 区民 3人以内
- (4) 美術団体関係者 2人以内
- (5) 学校教育関係者 2人以内

2 前項第3号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第6条 協議会に会長および副会長を各1人置く。

- 2 会長および副会長は、委員が互選する。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 会議の議長は、会長が務める。
- 4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くこ

とができる。

(部会)

第8条 協議会は、第2条第1項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。

3 部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、地域文化部において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

付 則(平成23年12月条例第53号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

付 則(平成26年12月条例第49号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

(2) 展覧会事業

平成28年度 展覧会事業日程(予定)

3階展示室			2階展示室		
会期	展覧会名	担当	会期	展覧会名	担当
4月17日 6月5日 <43日間>	【有料】 『没後50年 “日本のルソー” 横井弘三の世界展』				喜多
6月10日 6月19日 <9日間>	【無料】 第62回練馬区美術家協会展		6月10日	【無料】 『練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術 4 1990～2000年代 辰野登恵子 (Untitled92-8)を中心に』	真子
6月21日 6月26日 <6日間>	(一般貸出)		6月26日 <15日間>		
7月3日 9月4日 <55日間>	【有料】 『しりあがり寿の現代美術 回・転・展』(仮称)				真子
9月18日 11月13日 <50日間>	【有料】 『朝井閑右衛門』展(仮称)				喜多
11月19日 1月12日 <42日間>	(一般貸出)		11月19日 2月12日 <69日間>	【有料】 『粟津則雄コレクション展 - “思考する眼”の向こうに - 』	加藤
1月14日 1月18日 <4日間>	中学校生徒作品展				
1月21日 1月26日 <5日間>	小学校連合図工展				
1月28日 1月29日 <2日間>	小中学校連合書きぞめ展				
2月4日 2月12日 <8日間>	【無料】 第48回練馬区民美術展				
2月23日 4月9日 <40日間>	【有料】 『お蔵出し！コレクション展』(仮称)	小野	2月23日 4月9日 <40日間>	【有料】 『田沼武能展 時代を刻んだ貌 時代に刻まれた顔 - 』(仮称)	加藤

没後 50 年 “日本のルソー” 横井弘三の世界展 - 開催要項

- 1 開催趣旨

長野県飯田市に生まれた横井弘三（1889～1965）は、1892年（明治25）に上京し、独学で絵画を学びます。1915年（大正4）の第2回二科展に初出品し、期待の新人画家に贈られる第一回樗牛賞を受賞するなど、はやくから作品が認められました。彼の作品は人を微笑ませるのびやかな魅力をもち、“日本のアンリ・ルソー”とも呼ばれ、高い評価を受けました。

1923年（大正12）の関東大震災をきっかけに二科会を離れた横井は、漆絵や焼き絵など新たな技法の開発に取り組む一方、「理想展」と呼ぶ無鑑査、自由出品のアンデパンダン展を自ら組織するなど、自分だけの表現を追い求め続けます。中央画壇から離れた横井の画業は必ずしも恵まれものではありませんでしたが、戦争を機に長野市に移住した晩年の約20年間は、地元の支援者に恵まれ、精力的に制作活動を展開しました。彼の作品は今もなお寄留した寺や知人宅、小学校などに多く残され、愛され続けています。

多くの作品が愛好家による個人所蔵であるためまとってみる機会が少ない横井作品。本展では、没後50年を機に、200点以上の作品を一堂に会し、いまだ明らかな横井の画業の全貌に迫ります。
- 2 会 期 平成28年4月17日（日）～6月5日（日）
巡回先 長野県信濃美術館 平成27年に開催済
- 3 主 催 練馬区立美術館 読売新聞社 美術館連絡協議会
協 賛 ライオン株式会社、清水建設株式会社、大日本印刷株式会社、損害保険
ジャパン日本興亜株式会社、日本テレビ放送網株式会社
協 力 横井弘三とオモチャン会
- 4 内 容 油彩、漆絵、焼き絵等 約200点
- 5 図 録 制作（2,200円）
- 6 観 覧 料 800円
- 7 イベント 対談（スズキコージ・土井章史）、
講演会（矢島新：跡見学園女子大学教授）、ワークショップ、
読み語り（銀河万丈）、ギャラリートーク（黒田弘志、羽田睦美）、
記念コンサート（佐橋美起：ソプラノ、多田直子：ピアノ）
- 8 観覧者数 7,955人（1日あたり185人）
- 9 担当学芸員 喜寿 孝臣

練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術 4

「1990～2000年代 辰野登恵子《Untitled92-8》を中心に」 開催要項

- 1 開催趣旨

練馬区立美術館の開館30周年に際し3回に渡り開催してきたコレクション展の最終回。「時代と美術」と名付けたこのシリーズは、作品や作家を単体で眺めるのではなく、同時代の作品を同列に眺めることで見えてくる時代性を提示するものである。

近現代の日本の作家を中心に収集されてきた当館の所蔵品約6,700点（寄託作品含む）のなかから、今回は1990～2000年代に焦点を当て、辰野登恵子を中心に、浅見貴子、石原友明、伊藤彬、岡村桂三郎、久野和洋、須田悦弘、寺田真由美、津田一江、森脇正人、淀井彩子らの作品約40点を展示する。
- 2 会 期 平成28年6月10日（金）～6月26日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 内 容 絵画、版画、立体作品等 約40点
- 5 図 録 リーフレット（A3二ツ折）を制作、無料配布
- 6 観 覧 料 無料
- 7 イベント

ギャラリートーク（1回開催）

鑑賞プログラム「トコトコ美術館」（6回開催）

講師：当館学芸員

対象：3～6歳、小学1・2年生＋保護者・各回5組
- 8 観覧者数 2,250人（1日あたり150人）
- 9 担当学芸員 真子 みほ

しりあがり寿の現代美術 回・転・展 - 開催要項

- 1 開催趣旨

しりあがり寿氏（1958 - ）は、朝日新聞に連載中の「地球防衛家のヒトビト」や「弥次喜多 in DEEP」をはじめ、数多くの独特の批評精神に満ちたギャグ漫画で知られている。その仕事は文芸春秋漫画賞や手塚治虫文化賞・優秀賞を受賞するなど高い評価を得ており、最近では、東日本大震災後の日本をテーマにした漫画集「あの日からのマンガ」が大きな話題となった。その一方で、墨絵、アニメーションなどの手法を用いて、自身の漫画と関連しながらもそれ自体で自律した現代アート作品も発表している。また近年、様々な日用品などを回転させる一連のインスタレーションも展開させている。

自身初の美術館での個展となる本展では、これまでの多様な仕事に触れつつ、回転インスタレーションを中心に新作を展開。日常の事物、映像など多岐にわたる品々を様々な方法でひたすら回転させ、シンプルな動きの中に、命を吹き込む生命感、固定概念の破壊、関係性を喪失した空虚さなど多角的な意味を投げかける。漫画家しりあがり寿とは一味違う、新しい「しりあがり寿ワールド」を体感する展覧会である。
- 2 会 期

平成28年7月3日（日）～9月4日（日）
巡回先 刈谷市美術館 平成28年9月17日（土）～11月6日（日）
伊丹市立美術館 平成29年1月14日（土）～3月5日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館 朝日新聞社
後 援 (株)テレビ朝日、(株)ビーエス（BS）朝日
- 4 内 容 マンガ原画、墨絵、インスタレーション 約150点
- 5 図 録 図録兼書籍として出版（株求龍堂）
- 6 観 覧 料 800円
- 7 イベント ギャラリートーク（2回）、アーティストトーク（2回）、鑑賞プログラム「トコトコ美術館」（4回開催）、コンサート、読み語り（銀河万丈）、ワークショップ（4種11回開催）
- 8 観 覧 者 数 11,000人（1日あたり200人）
- 9 担当学芸員 真子 みほ

朝井閑右衛門展（仮称） 開催要項

- 1 開催趣旨

朝井閑右衛門は、1926年（大正15）の第13回二科展に初入選した後、光風会を中心に作品を発表しました。1936年（昭和11）の文部省美術展覧会には、謎めいた群像の大作《丘の上》を発表し、文部大臣賞を受賞。一躍画壇の寵児となります。

戦後は、既成の画壇から距離をとりつつ、電線、薔薇、ガラス台鉢、ドン・キホーテ、道化や詩人たちの肖像など、同じモチーフを何度も繰り返かえし描き続けて独自の絵画世界を生み出しました。

田浦や鎌倉に長く住んだことが知られる朝井ですが、初期の代表作《丘の上》は、練馬にあったアトリエ長屋在住の時期に描かれた作品であり、朝井閑右衛門は練馬ゆかりの作家でもあります。

本展では、初期から晩年まで、写実と幻想の挟間で制作を続け、独自の地歩を築いた朝井の画業の全貌をご紹介します。
- 2 会 期 平成28年9月18日（日）～11月13日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館 読売新聞社 美術館連絡協議会
協 賛 ライオン株式会社、清水建設株式会社、大日本印刷株式会社、損害保険
ジャパン日本興亜株式会社、日本テレビ放送網株式会社
- 4 内 容 油彩・水墨画等 約100点
- 5 図 録 記念図録を制作予定
- 6 観 覧 料 800円
- 7 イベント ギャラリートーク、講演会、コンサート、
読み語り（銀河万丈）、ワークショップ
- 8 観覧者数 13,500人（1日あたり270人）
- 9 担当学芸員 喜多 孝臣

栗津則雄コレクション展

“ 思考する眼 ” の向こうに (仮称) - 開催要項

- 1 開催趣旨

栗津則雄氏 (1927 -) はオディロン・ルドンやパウル・クレーなど芸術家の評伝をはじめ、アルチュール・ランボーやカフカといった詩人・哲学者の訳書や評論など、フランスの文学、美術、音楽に対し深い造詣を持ちながら、正岡子規や萩原朔太郎、西行にも高い関心を抱き、研究・評論をつづけてきた。

当館は平成26年度に栗津氏の収集した美術品の数々、約100点の一括寄贈を受けた。

その中には評論・評伝の中で取り上げたルドンやジョルジュ・ルオー、アントニー・クラウベの版画、著作の表紙を飾った駒井哲郎、柄沢齊、親しく交流した麻田浩、池田満寿夫らの作品が含まれている。それらは、長年に亘り書斎に飾られた愛蔵の品で、栗津氏の眼、表現とともに歩み、その思考の一端を読み取ることができる意義深い作品ばかりである。

2006年 (平成18) より出版が続いていた栗津則雄著作集 (思潮社) が完結することを機に、当館所蔵の栗津コレクションの中から選りすぐりの作品、約50点を紹介するものである。
- 2 会 期 平成28年11月19日 (土) ~ 平成29年 2 月12日 (日)
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 内 容 版画、油彩画、立体等 50点
- 5 図 録 制作予定
- 6 観 覧 料 300円
- 7 イベント 記念講演会、ギャラリートーク ほか
- 8 観覧者数 8,970人 (1日あたり130人)
- 9 担当学芸員 加藤 陽介

田沼武能展 時代を刻んだ貌 時代に刻まれた顔（仮称） - 開催要項

- 1 開催趣旨

写真家、田沼武能氏（たぬま たけよし、1929 - ）は木村伊兵衛に師事。世界中の子供達の姿を撮影する写真家として知られている。その一方で『芸術新潮』や『タイムライフ』などの仕事をする中で、昭和の文壇、文化・芸術を担った著名人たちの“貌”を長年に亘り撮りつづけてきた。「人間大好き人間」を標榜する田沼がとらえた人々の表情には、被写体を抉り出す鋭さとともに、温かで豊かな想いが投影されている。

本展では、野見山暁治、奥田元宋など練馬ゆかりの作家を含め、時代を代表する文化人らのポートレートを紹介する。

なお、この展覧会は、練馬区立石神井公園ふるさと文化館分室との同時開催である。
- 2 会 期 平成29年2月23日（木）～4月9日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 内 容 写真 約80点
- 5 図 録 制作予定
- 6 観 覧 料 500円
同時開催の「お蔵出し！コレクション展」と共通観覧料
- 7 イベント 記念講演会、ギャラリートーク、コンサート、読み語り（銀河万丈） ほか
- 8 観覧者数 7,200人（1日あたり180人）
同時開催の「お蔵出し！コレクション展」と共通・再掲
- 9 担当学芸員 加藤 陽介

『お蔵出し！コレクション展』（仮称） - 開催要項

- 1 開催趣旨

練馬区立美術館は、2015年（平成27）に開館30年という記念の年を迎えた。

中村善策の油彩画《池畔新緑》（1978年）をコレクション第1号として収蔵してから、この30年にわたって「日本近現代美術」を中心に作品を蒐集してきた。その数は、寄託作品も合わせ、約6,700点にのぼる。作品購入が厳しくなった現在でも、収蔵作品は毎年増え続け、また蒐集ジャンルも江戸絵画、西洋美術と少しずつ広がっている。

美術館の核である収蔵作品の充実は、歴代学芸員の熱心な蒐集活動に裏打ちされたものであるが、同時に貴重な作品をご寄贈・ご寄託くださった方々のご厚意によっても支えられていることは言うまでもない。

今回は、コレクション約6,700点から、江戸・明治の絵画、現代の美術、新収蔵作品や「館長の選ぶ1点」など、様々な視点から厳選した約120点を紹介する。

練馬区立美術館のコレクションを気軽に楽しんでもらうと同時に、お客様にそれぞれの1点を見つけてもらいたい展覧会である。

なお、このコレクション展開催にあわせて、13年ぶりに収蔵作品目録を発行予定。

*会場は3階展示室のみ
- 2 会 期 平成29年2月23日（木）～4月9日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 内 容 油彩画、日本画、版画、下図、スケッチ等 約120点
- 5 図 録 制作予定
- 6 観 覧 料 500円
同時開催の田沼武能展と共通観覧料
- 7 イベント 講演会、コンサート ほか
- 8 観覧者数 7,200人（1日あたり180人）
- 9 担当学芸員 小野 寛子

(3)教育普及事業

平成28年度教育普及事業計画(案)

館内事業

) 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

関連ワークショップ・講座

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	横井弘三展関連ワークショップ 「はがきサイズの焼き絵に挑戦！」 講師:加藤雄三、金澤鮎香(株式会社白光)	4月17日(日) 10:30~12:30、14:00~16:00	2	小学3年生以上	各回12名
2	横井弘三展関連ワークショップ 「修正液で版画ができる?短時間で作るスピード木版画」 講師:田嶋健(版画家)	4月24日(日) 10:30~12:30、14:00~16:00	2	小学生以上	各回15名
3	しりあがり寿展関連ワークショップ「未定」 講師:しりあがり寿	8月	1	小学生	20名
4	しりあがり寿展関連ワークショップ「回転工作」 講師:真子みほ(当館学芸員)	8月	4	小学生	各回20名
5	しりあがり寿展関連ワークショップ「みんなで作る回転オブジェ」 講師:真子みほ(当館学芸員)	8月	4	小学3年生以上	各回10名
6	朝井閑右衛門展関連ワークショップ「演劇」 講師:未定	10月	1	小学生	20名
7	朝井閑右衛門展関連美術講座「油彩」 講師:未定	11月	1 (2日間)	中学生以上	20名
8	コレクション展関連ワークショップ 講師:真子みほ(当館学芸員)	平成29年3月	2	小学生以上	各回15名
9	田沼武能展関連美術講座「写真」 講師:未定	平成29年2月	1 (2日間)	中学生以上	15名

ギャラリートーク

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	横井弘三展	4月24日(日)、4月28日(木)、 5月26日(木)	3	自由参加	
2	コレクション展	6月18日(土)14:00~14:30	1	自由参加	
3	しりあがり寿展	7~8月	2	自由参加	
4	朝井閑右衛門展	9~11月	2	自由参加	
5	粟津則夫コレクション展	11月~平成29年2月	1	自由参加	
6	コレクション展	平成29年2~4月	4	自由参加	
7	田沼武能展	平成29年2~4月	1	自由参加	

コンサート・ライブパフォーマンスなど

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	横井弘三展 記念コンサート 演奏者:佐橋美起(ソプラノ)、多田直子(ピアノ)	5月15日(日)15:00~	1	自由参加	
2	朝井閑右衛門展	未定	未定	自由参加	
3	しりあがり寿展	未定	未定	自由参加	
4	田沼武能展	未定	未定	自由参加	

鑑賞プログラム

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	コレクション展関連 トコトコ美術館 テーマ:くだもの	6月	6	3歳~6歳 +保護者 小学1・2年生 +保護者	各回 5組
2	しりあがり寿展関連 トコトコ美術館 テーマ:かいてん	7月	4	3歳~6歳 +保護者	各回 5組
3	粟津則夫展関連 トコトコ美術館 テーマ:はんが	12月	6	3歳~6歳 +保護者 小学1・2年生 +保護者	各回 5組

講演会など

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	横井弘三展対談「横井弘三じいちゃんの絵のはなし」 講師:スズキコージ(絵本画家)、土井章史(絵本編集者)	5月14日(土)15:00~	1	中学生 以上	70名
2	横井弘三展記念講演会「横井弘三の素朴絵」 講師:矢島新(跡見学園女子大学教授)	6月4日(土)15:00~	1	中学生 以上	70名
3	しりあがり寿展関連 対談	7月、8月	2	中学生以上	70名
4	朝井閑右衛門展	未定	1	中学生以上	70名
5	粟津則夫コレクション展	未定	1	中学生以上	70名
6	コレクション展	未定	1	中学生以上	70名
7	田沼武能展	未定	1	中学生以上	70名

)美術講座 (美術に関する知識を学ぶ)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	美術講座 本の装丁 講師:レ・フラグマン・ドゥ・エム(装丁ユニット)	未定	1 (2日間)	小学5年 ~中学生	15名
2	美術講座 美術史 講師:未定	未定	1	中学生 以上	70名
3	美術講座 デッサン 講師:未定	未定	1 (2日間)	中学生 以上	20名

)美術館を楽しむワークショップ (人が集う「場」作り)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	四季のみじたく シリーズ29夏のみじたく 講師:未定	7月	1	小学4年生 以上	20名
2	美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ遊び	8月	4	5歳~ 小学2年生	各回 10名
3	四季のみじたく シリーズ30 秋のみじたく 講師:未定	9月	1	小学4年生 以上	20名
4	四季のみじたく シリーズ31 冬のみじたく 講師:しおいいりあさこ(作家)	10月30日(日)10:30~17:00	1		20名
5	四季のみじたく シリーズ32 春のみじたく 講師:未定	平成29年3月	1		20名

学校関連事業

) **スクールプログラム** パンフレットを作成し各学校に配布。

団体鑑賞	美術館担当者がマナーの説明や展示解説を行い鑑賞のお手伝いをする
施設見学	各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する
職場体験・訪問	受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える
出張プログラム	担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをする

) **ティーチャーズディ**

当館および当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中高等学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。

各回ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。
平成28年度は6回開催する。

	展覧会名
1	横井弘三展
2	コレクション展
3	しりあがり寿展
4	朝井閑右衛門展
5	粟津則夫コレクション展
6	練馬区立美術館コレクション展 田沼武能展

) **スクールミュージアム**

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)、マグネットシート(A4版/A3版)、専用パネルの貸し出しを行う。これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成された。

4 平成27年度事業報告（中間報告）

(1) 展覧会事業

平成27年度 展覧会事業日程および観覧者数

(ア) 企画展等

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
4月5日(日) ～5月17日(日)	没後100年小林清親展	37	8,000 (216)	14,785 (400)	184.8%
6月11日(木) ～6月30日(火)	N+N2015(練馬区立美術館・日大芸術学部合同展) 「The彫刻 - Nichigei 彫刻の現在」	17	3,740 (220)	1,405 (83)	37.6%
7月12日(日) ～9月6日(日)	舟越保武彫刻展 - まなざしの向こうに	49	10,800 (220)	22,948 (468)	212.5%
9月20日(日) ～11月15日(日)	アルフレッド・シスレー展 - 印象派、空と水辺の風景画家	49	22,050 (450)	41,849 (854)	189.8%
11月21日(土) ～2月7日(日)	浜田浄の軌跡 - 重ねる、削る 絵画 -	62	15,000 (242)	3,697 (60)	24.6%
2月19日(金) ～4月10日(日)	国芳イズム - 歌川国芳とその系脈 武蔵野の洋画家 恵俊彦コレクション	45	11,250 (250)	11,250 (250) (見込)	100.0%
合 計		259	70,840 (274)	95,934 (370) (見込)	135.4%
前年度		169	44,900 (266)	32,052 (190)	前年度比 299.3%

(イ) 2階常設展示室によるコレクション展

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
5月22日(金) ～6月30日(火)	練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術3 1970年～80年 牧野邦夫 インパール を中心に	34	8,160 (240)	3,400 (100)	41.7%
合 計		34	8,160 (240)	3,400 (100)	41.7%
前年度		78			前年度比
			観覧者数	17,767	19.1%
			1日当り	(228)	43.9%

	26年度	27年度	前年度比
企画展・コレクション展観覧者数(実数)比較	49,819	99,334 (見込)	199.4%

(ウ)各種展覧会

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者実数 (1日当り)	
5月22日(金) ～5月31日(日)	第61回練馬区美術家協会展	9	1,554 (173)	
1月9日(土) ～1月13日(水)	中学校生徒作品展	4	3,477 (869)	
1月16日(土) ～1月21日(木)	小学校連合図工展	5	9,941 (1,988)	
1月23日(土) ～1月24日(日)	小・中学校連合書初め展	2	10,586 (5,293)	
1月30日(土) ～2月7日(日)	第47回練馬区民美術展	8	2,672 (334)	
合 計		28	28,230 (1,008)	前年度比 108.5%
前年度		28	26,007 (929)	

入館者数比較	26年度	27年度	前年度比
	81,647	139,767 (見込)	171.2%

入館者数・観覧者数推移



(2)教育普及事業

平成27年度 教育普及事業実績

館内事業

)展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

事業名	回数	定員	申込	参加
関連ワークショップ・講座	13	135	212	136
ギャラリートーク	13			714
講演会、シンポジウム等	10			628
コンサート・ライブパフォーマンス	9			1,124
鑑賞プログラム	14			145
合計	59	135	212	2,747

)美術講座 (美術に関する知識を学ぶ)

事業名	回数	定員	申込	参加
美術史	2	105	71	48

)美術館を楽しむワークショップ (人が集う「場」作り)

事業名	回数	定員	申込	参加
四季のみじたく25	7	80	61	51
美術館をつかまえる!?館内探検とフロタージュ遊び	4	40	36	28
合計	11	120	97	79

)その他

事業名	回数	定員	申込	参加
美術の森ガイドツアー	2			20
貫井図書館×美術館 共催事業	2	20	15	11
合計	4	20	15	31

【館内事業 計76回 参加者延2,905名】

学校関連事業

) スクールプログラム

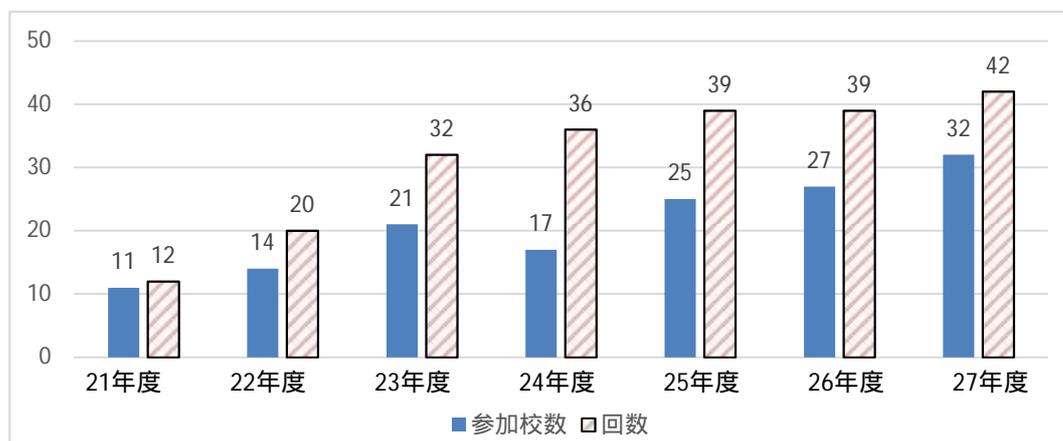
4月にパンフレットを作成し区内小中高等学校に配布。申込みの際は用紙に記入し送付していただいた。

団体鑑賞 (18回 786人)

施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介した (8回 184人)

職場体験・訪問 受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝えた (12回 33人)

出張プログラム 担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをした (4回 325人)



【スクールプログラム 計32校 42回 参加児童・生徒・学生 延1,328名】

) ティーチャーズデイ

当館および当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設けた。

各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とした。

< 6回 延70人 >

) その他

学外活動受け入れ 都立大泉桜高校美術部部員 < 延20名(引率延4名) >

学校団体観賞用バスの派遣

4月1日に区内小学校全校へファックスし、申込のあった学校から先着順で実施校を決定した。

募集時のバス台数: 6台 申込校数: 4校 実施校: 大泉第六小学校、大泉第三小学校、大泉第一小学校

< 3校 239名(引率13名) >

【学校関連事業 計52回 参加者延 1,591名】

その他

) 団体鑑賞(一般)

一般団体から展覧会解説の要望があった場合、申込用紙に記入頂いたうえで、各担当学芸員が担当し実施した。

< 5回 延79名 >

) 団体鑑賞(外部企画)

外部からの持ち込み企画に際し、各担当学芸員が展覧会解説を行った。 < 2回 延57名 >

【その他 計7回 参加者延136名】

教育普及事業 全参加者 計4,632名

平成27年度 博物館実習実績

【実習実施期間】 平成27年11月18日(水)～11月26日(木) <6日間>
11月22日(日) - 24日(火)を除く

No.	大学名	学部等	人数
1	立教大学	法学部 政治学科	1名
2	日本大学	芸術学部 美術学科版画コース	1名
3	武蔵野美術大学	造形学部 油絵学科	1名
4	清泉女子大学	文学部 文化史学科	1名
5	日本女子大学	人間社会学部 文化学科	1名
6	聖心女子大学	文学部 歴史社会学科	1名
7	学習院大学	文学部 哲学科	1名
8	東京工芸大学	アニメーション学科	1名
9	東京女子大学	現代教養学部 国際社会学科国際関係専攻	1名
10	東京大学	文学部 歴史文化学科美術史学専攻	1名
11	共立女子大学	家政学部 被服学科造形デザインコース	1名
12	お茶の水女子大学	文教育学部 人文科学科美術史専攻	1名
合 計			12名

(3) 美術作品の収集事業

平成27年度 美術作品の収蔵状況

(平成27年3月26日現在)

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
59	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28								317	28	573	601
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1						1			6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5				7		7	0	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98						13			0	163	163
22		11		168		9								3		191	191
23		8		13								1		123		145	145
24		32		10		33										75	75
25															0	0	0
26		13	1	422		215						22		2,084	1	2,756	2,757
合計	31	264	190	1,309	75	773	1	7	0	1	1	44	1	2,543	299	4,941	5,240

平成27年3月26日現在

寄託作品 1,462 点

購入・寄贈・寄託計6,702点

3 美術の森緑地

(1) 美術の森緑地リニューアル後の動向

現況

平成27年3月30日に「幻想美術動物園」をコンセプトにリニューアルオープン、天然芝と20種類32体の動物を中心とした彫刻群が人気を呼び、開園以来、延べ68万人（平成28年1月30日現在）の方々に利用いただいた。年間ベースでは練馬区の人口を上回る75万人の利用が見込まれ、「練馬の新しい名所」になりつつある。マスコミでも注目され、「アド街ック天国」始めTV番組の紹介、共同通信発で多くの地方紙にも取り上げられた。

彫刻は、触ってもいい、坐ってもいい「遊べるアート」として、道は「歩けるアート」として制作・設置したが、狙い通り、連日、親子連れを中心に「老若男女」で賑っている。

緑地内2箇所に設置したカウンターの累計、概数

来園者数推移

平成27年3・4月	76,000人
5月	67,000人
6月	52,000人
7月	47,700人
8月	60,300人
9月	75,000人
10月	88,100人
11月	80,500人
12月	50,100人
平成28年1月	80,600人
2月	50,400人
累計	727,700人

グッズの開発・販売

平成27年8月から、動物デザインのグッズを販売

(ポストカード、クリアファイル、トートバッグ、マグカップ)

(2) 広報活動と反響

<p>< テレビ ></p> <p>BS日テレ 「ぶらぶら美術・博物館」 8月21日20:00~</p> <p>テレビ東京 「出没! アド街ック天国」 11月7日21:00~</p>	
<p>< 新聞 ></p> <p>朝日新聞 2月25日 工事中の模様を掲載</p> <p>共同通信 5月21日 (web版) 下野新聞 5月21日 (web版)</p> <p>山形新聞 5月21日 (web版) 山陽新聞 5月21日 (web版)</p> <p>産経新聞 5月21日 (web版) 信濃毎日新聞 5月21日 (web版)</p> <p>神戸新聞 5月21日 (web版) 中日新聞 5月21日 (web版)</p> <p>北日本新聞 5月21日 (web版) 信濃毎日新聞 5月29日</p> <p>北海道新聞 6月9日 朝日新聞夕刊 6月17日 日本農業新聞 6月30日</p> <p>サンケイリビング新聞社 3月5日「リビング東京」</p>	
<p>< 美術雑誌 ></p> <p>美連協ニュース 5月号</p> <p>新美術新聞 4月21日</p>	<p>< 雑誌 ></p> <p>オズマガジン 8月号</p>
<p>< 地域情報誌 ></p> <p>光が丘ima'am 6・7月号</p> <p>月刊Kacce 5月号、6月号</p> <p>Engagement vol.2</p>	<p>ネリクリ4</p> <p>ヒカルとヒカリ 2015 Spring&Summer</p>
<p>< WEB ></p> <p>JRおでかけネット</p> <p>itot あいとっと</p> <p>日本の歩き方</p> <p>練馬経済新聞</p> <p>bitecho</p>	<p>ミュージアムカフェ</p> <p>青い日記帳</p> <p>はろるど</p> <p>クラブウィルビー 他</p>